

ヨハネ第三書序言

本書の受取人　ガイオと言う熱心な信者で、聖ヨハネの住む町から隔った教会に属する者である。

本書をしたためた機会および目的　ガイオが、自分の住んでいる所を通過した数人の宣教師を宿したところ、彼らはヨハネのもとに行つて、教会の前でその宿主ガイオを非常に賞賛した。ところが、その宣教師たちは布教のためにもう一度ガイオの土地を過ぎるので、そのためヨハネは本書を彼らに託した。目的は、ガイオに感謝し、宣教師たちを歓迎すべきことを勧め、またガイオの属する教会をつかさどるジオトレフェスと言う者が、ヨハネの権力に逆らつて、ヨハネと一致する人々を排斥するため、ガイオに彼をとがめ公然と懲戒ちやうかいすべきことを告げることにある。

本書の区分　例の挨拶（一、二節）のち本文に入り、ガイオの行為を賞賛し（三〜八節）、ジオトレフェスの処置をとがめ（九〜十一節）、次にデメトリオと言う人を祝賀し（十二節）、終わりに末文をもつて結ぶ。（十三、十四節）。

使徒聖ヨハネ第三書簡

1 挨拶 1 長老は、^{ちようろう}至愛なるガイオ、すなわちわが誠に愛せる者に「書簡を送る」。

2 祈るところ 2 至愛なる者よ、われ汝が魂の榮ゆるごとくに万事において榮え、かつ^{そうけん}壯健ならんことを祈る。

3 本文 3 ある兄弟たち来りて、汝の忠実、すなわち汝がいかに忠実に歩めるかを証したれば、
4 われ、はなはだ喜べり。4 われにとりて、わが子ども^{こども}の忠実に歩めるを聞くにまされる喜びはあ
5 らず。5 至愛なる者よ、汝は兄弟たち、しかも旅人^{りょじん}に対して何ごとをなすにも忠実にこれをなせ
6 り。彼らは教会の前において汝の愛情を証せしが、6 汝がなお神にふさわしからんよう彼らの旅
7 行を助けんは、しかるべきことなり。7 そは彼らは神のみ名のために出立して何ものをも異教人
8 に受けざればなり。8 ゆえにわれらは真理と協力せんために、よろしくかくのごとき人を接待す
べきなり。

9 ジオトレフェスをとがむ 9 われ教会に宛てて一筆^{ひととぎ}書き送れり、¹されどそのうちに^{かしら}頭だつこと
10 を好めるジオトレフェス、われらを受け入れざるなり。10 ゆえにわが至りたらん時、そのなすこと
ろの業^{わざ}をその心に呼び起こさんとす。すなわち彼はわれらを悪口^{あくこう}して、しかも足らざるものごと
とく自ら兄弟たちを受け入れず、合わせて受け入れんとする人々を戒め、かつ教会より追いだ
11 すなり。11 至愛なる者よ、汝は悪にならわずして善にならえ、善をなす人は神よりの者なり。悪

をなす人は神を見奉りしことなし。

12 デメトリオをほむ 12 デメトリオは衆人にも實際にも証明せられ、われらもまたこれがために

証明す、しかしてわれらの証明の眞実なるは汝らこれを知れり。

14-13 結末 13 汝に書き送るべきことは多かりしかども、われは墨筆すみふでをもって書き送るを好まず。 14

願わくは、不日ふじつ汝を見て、われら口ずから相語らん。

伝言 汝に平安あれかし。友人たちは汝によるしくと言えり。友人たちに、おのおの名をさしてよろしく伝えよ。

①ラテン訳では書き送りしならん。